

本資料には、個別工事費などの機微な情報が含まれているため、
一部情報については、マスキング処理をしております。

「東北東京間連系線に係る広域系統整備計画」における 工事費増額の確認について

2023年 12月 18日
広域系統整備委員会
コスト等検証小委員会事務局

- 東北東京間連系線に係る広域系統整備計画のうち、東北電力ネットワーク（以下「東北NW」という。）が事業実施主体である工事件名については、前回、東北NWが工事費増額の内容について説明し、多くのご意見を頂戴した。
- いただいたご意見も踏まえ、東北NWの工事費増額の確認について今後の進め方を整理したことから、本日はその内容についてご確認いただきたい。

(参考) 全体工事費の変動内容と変動額 (東北NW10/31報告内容)

第35回コスト等検証小委
(2023年11月) 資料3
をもとに作成

1. 各工事件名の最新工事費について

1-1 全体工事費の推移

1-2 送電工事費の内訳

2. 今後の確認事項・進め方について

2-1 今後の確認事項

- (A) 送電工事の設計に関する内容の確認とコスト低減に向けた検討
- (B) 調達プロセス（予報発注から契約決定まで）の確認（請負・資材）
- (C) プロジェクト管理体制の確認
- (D) その他（丸森開閉所新設工事の大幅な減額要因の確認など）

2-2 工事内容・調達プロセスなどの確認の進め方

3. まとめ

1. 各工事件名の最新工事費について

1-1 全体工事費の推移

1-2 送電工事費の内訳

2. 今後の確認事項・進め方について

2-1 今後の確認事項

(A) 送電工事の設計に関する内容の確認とコスト低減に向けた検討

(B) 調達プロセス（予報発注から契約決定まで）の確認（請負・資材）

(C) プロジェクト管理体制の確認

(D) その他（丸森開閉所新設工事の大幅な減額要因の確認など）

2-2 工事内容・調達プロセスなどの確認の進め方

3. まとめ

1. 各工事件名の最新工事費について

1-1 全体工事費の推移

1-2 送電工事費の内訳

2. 今後の確認事項・進め方について

2-1 今後の確認事項

(A) 送電工事の設計に関する内容の確認とコスト低減に向けた検討

(B) 調達プロセス（予報発注から契約決定まで）の確認（請負・資材）

(C) プロジェクト管理体制の確認

(D) その他（丸森開閉所新設工事の大幅な減額要因の確認など）

2-2 工事内容・調達プロセスなどの確認の進め方

3. まとめ

- 「東北東京間連系線に係る広域系統整備計画」のうち、**東北NWが事業実施主体の送電工事に着目**すると、2020年5月のコスト小委受審時に1,172億円であったものが、今回報告では**1,537億円（+365億円、+31%増）と大幅な増額となっている。**
- **工事費の増額内容等については、以下4項目について確認**を行っていくこととしたい。特に（A）については、送電工事に関わる専門的な知識が必要であることから、一般送配電事業者（関西送配電、九州送配電）の協力を得ながら進めるとともに、コスト低減策の可能性などについての確認では送配電網協議会や他の一般送配電事業者の協力も得ながら進めたい。
 - （A）送電工事の設計に関する内容の確認とコスト低減に向けた検討
 - （B）調達プロセス（予報発注から契約決定まで）の確認（請負・資材）
 - （C）プロジェクト管理体制の確認
 - （D）その他（丸森開閉所新設工事の大幅な減額要因の確認など）
- 今後の確認について、一部の送電工事では鉄塔の請負契約が完了しているものの、それ以外の契約は来年1月から請負業者との具体的な協議が始まり、2024年度上期に順次契約予定となっていることから、**上記の確認作業は2024年6月を目途に進める。なお、確認作業の進捗によっては早期完了や延長など柔軟な対応**をしていきたい。
- なお、今後の確認を待つことなく、**事業実施主体である東北NWにおいては引き続き継続的なコスト低減策の検討と適用について自ら取り組むよう求めたい。**

(参考) 全体工事費増加状況 (東北NW10/31報告内容)

第35回コスト等検証小委
(2023年11月) 資料3
をもとに作成

